

## 2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日 時: 2019年3月19日(火)18:00~19:27

場 所: 聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議 長: 片岡 弥恵子(委員長)

出席委員: 片岡 弥恵子、鶴若 麻理、小野 若菜子、小林 京子、縄 秀志、高橋 奈津子

小山田 恭子、三森 寧子、中田 諭、木下 康仁、中村 めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江 眞知恵

欠席委員: 松井 陽、青木 美紀子、大久保 暢子、川上 千春、中山 昌明、神里 彩子

(出席者 13人をもって、委員会の成立)

### 1. 審議事項:新規申請(本審査)

#### ① 審査番号 18-A094 米田 昭子(成人看護学 博士)

「糖尿病治療を目的とした受診をしていない時期を有する2型糖尿病の人への「自分の糖尿病とゆるやかにつき合っていく」ことを助けるケアプログラムの開発」

研究責任者(米田氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 保留

#### ② 審査番号 18-A096 小山 美樹 (がん看護学・緩和ケア 博士)

「外来で経口抗がん薬治療を受ける高齢者の副作用を予防する多職種連携ケアプロトコルの実装」

研究責任者(小山氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付承認

#### ③ 審査番号 18-A097 高畑 香織(助産学 客員研究員)

「妊娠後期からの継続したアロマセラピーが産痛および精神状態に及ぼす影響:パイロットスタディ」

研究責任者(高畑氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付承認

### 2. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、下記の通り承認となった。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者	審査区分(担当)	判定
17-A011	看護学というセカンドキャリア形成に関する教育・学習評価のコホート調査 -学士3年次編入制度と学士2年次編入制度の比較-	助産学	教授	堀内 成子	本審査	承認
17-A094	地域特性に応じた保健活動推進 ガイドラインの開発-地区活動実態調査-	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ	本審査	承認

17-A103	早産児を出産した母親への Early Essential 搾乳ケアに関する看護者向け教育プログラムの効果	助産学	博士	田中 利枝	本審査	承認
17-A104	低出生体重児の家族支援のための保健師教育プログラムの開発—教育プログラムの試行と評価—	公衆衛生看護学	助教	永井 智子	本審査	承認
17-A105	インドネシアにおける新生児蘇生法研修プログラムの開発および実行可能性検証のための比較介入パイロット研究	国際看護学	修士	加藤 美佳	本審査	承認
18-A013	女子大学生に対する子宮頸がん・検診教育プログラムの作成と評価	ウイメンズヘルス	修士	鈴木 絵里	本審査	承認
18-A015	がん専門病院の集中治療領域においてがんの治療に伴う緊急症により終末期を迎えた患者・家族との関わりで生じる看護師の困難感	急性期看護学	修士	上石 響	本審査	承認
18-A030	対話リフレクションを用いて行う新人看護師への教育的支援—意思疎通の困難な患者の安楽を高めるケア実践に向けて—	看護教育学	修士	林 保江	本審査	承認
18-A031	NICU 看護職者による母子関係に対する支援のプロセス	小児看護学	修士	稲勝 玲	本審査	承認
18-A033	周産期領域の看護者を対象とした DV 被害者支援に関する E-learning の開発と評価:ランダム化比較試験	助産学	博士	丸山 菜穂子	本審査	承認
18-A041	分娩を取り扱う助産所の開業における障壁—若手助産師のインタビューから—	助産学	修士	鈴木 みどり	本審査	承認
18-A052	北海道における道央圏外の病院の看護管理者の継続学習の実態とニーズ	看護管理学	博士	矢野 祐美子	本審査	承認
18-A062	インドネシア助産学生のための産後出血におけるチーム基盤型学習(TBL)の実行可能性	助産学	博士	Ulfa Yunefit	本審査	承認
18-A063	Burns による人工呼吸器離脱アセスメントプログラム(BWAP:Burns Wean Assessment Program)に関する ICU 医師・看護師を対象としたインタビュー調査	成人看護学	博士	木村 理加	本審査	承認
18-A067	ホスピス・緩和ケア病棟からの一時退院が遺族からみた患者の QOL に及ぼす影響とその関連要因	がん看護学・緩和ケア	修士	麻生 咲子	本審査	承認
18-A072	分娩場所別の安全性に関するコホート研究	助産学	博士	妹尾 祥子	本審査	承認

## 3. 報告事項・新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者	審査区分(担当)	判定
18-A088	うつ症状を有する高齢者の包括支援プロジェクト	公衆衛生看護学	博士	持田 恵理	書類(片岡)	承認
18-A087	NICUの新人看護師を対象としたTransition支援プログラムの開発と実用化研究	小児看護学	博士	井出 由美	迅速(大久保/高橋)	承認
18-A089	歌舞伎俳優を継ぐ者にとっての健康	公衆衛生看護学	博士	湯浅 晶子	迅速(縄/中村)	承認
18-A090	慢性疾患患者を支える一般外来に勤務するジェネラリストナースに求められる役割と能力に関するインタビュー調査	慢性期看護学	助教	松本 文奈	迅速(小林/木下)	承認
18-A091	自殺未遂者支援のための地域連携システムを構築するプロセス—救命救急センター退院後地域での支援につなげるための取り組み—	公衆衛生看護学	修士	倉永 優子	迅速(高橋/中田)	承認
18-A092	乳がん患者の妊孕性温存に関する知識獲得を目的とした看護師向けe-learning教材の開発:パイロットスタディ	がん看護学・緩和ケア	修士	藤原 登茂	迅速(三森/中山)	承認
18-A093	プラセボ対照二重盲検ランダム化比較試験の治験参加を検討している方のための意思決定ガイド(試作案)の内容適切性評価	看護情報学	博士	藤田 美保	迅速(高橋/大久保)	承認
18-A095	慢性疾患患者を支える一般外来に勤務するジェネラリストナースの学習ニーズに関するアンケート調査	慢性期看護学	助教	松本 文奈	迅速(小林/木下)	承認

## 4 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究について、下記のように報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者	審査区分(担当)	判定
変更申請	17-A013	未就学児育児中の看護師のワーク・ライフ・バランスの構成概念と関連要因に関するインタビュー調査	公衆衛生看護学	博士	宇井 秋子	書類(片岡)	承認
変更申請	18-A022	周産期看護学実習と小児看護学実習および子どもと家族の看護領域実習に対する実習後の学生の認識	3年次学士編入	助教	下田 佳奈	書類(片岡)	承認
変更申請	18-A044	看護師との関わりからみえる急性期失語症者の経験	看護技術学	修士	武田 希帆子	書類(片岡)	承認

終了報告	17-A003	母乳育児と子どもの成長;タンザニア都市部での新生児病棟とカンガルー病棟の母乳育児指導の比較	助産学	修士	多田 恭子		
終了報告	17-A075	がん患者との End-of-life discussions における看護に関する質問紙の妥当性・信頼性の検証	がん看護学・緩和ケア	博士後期	門脇 緑		
終了報告	17-A092	フィリピン共和国の都市スラムにおける結核治療未治療者に関する質的研究 Lost patients of TB treatment among the residents of the urban slum in the Philippines: Qualitative study	国際看護学	修士	大橋 明日香		
終了報告	17-A100	河南省慢性心不全患者のヘルスリテラシーと生活の質の関連	国際看護学	修士	張 俊華		
終了報告	18-A006	ムヒンビリ国立病院における予定反復帝王切開術中に早期母子接触を受けた母親の認識	助産学	修士	五十嵐 由美子		
終了報告	18-A013	女子学生に対する子宮頸がん・検診教育プログラムの作成と評価	ウィメンズヘルス	修士	鈴木 絵里		
終了報告	18-A016	手術室の夜間勤務体制と手術室看護師の疲労・睡眠との関係	看護管理学	修士	前田 浩		
終了報告	18-A018	地域の遺伝相談事業に関する住民のニーズおよび臨床遺伝専門医のかかわり	遺伝看護学	修士	大西 涼子		
終了報告	18-A020	看護実践能力の向上に資する看護教員の養成と継続教育に関する研究—全国調査—	看護教育学	准教授	奥 裕美		
終了報告	18-A030	対話リフレクションを用いて行う新人看護師への教育的支援—意思疎通の困難な患者の安楽を高めるケア実践に向けて—	看護教育学	修士	林 保江		
終了報告	18-A032	精神保健専門職から見た地域で生活する精神障害者と地域住民の交流がもたらした変化	公衆衛生看護学	修士	遠藤 海和		
終了報告	18-A044	看護師との関わりからみえる急性期失語症者の経験	看護技術学	修士	武田 希帆子		
終了報告	18-A046	発達障害を抱える人々が働き続けるための支援のあり方	公衆衛生看護学	修士	安田 由美		
終了報告	18-A050	医療的ケア児に対する在宅移行期の行政保健師の支援	公衆衛生看護学	修士	小池 千咲		

終了報告	18-A051	在日外国人妊産褥婦のニーズに合ったケアを調整するための確認リストの開発	助産学	修士	ブジョー 恵美里		
終了報告	18-A054	経膈分娩希望の骨盤位の妊婦を助産所助産師はどのように支援しているのか	助産学	修士	久保田 美樹		
終了報告	18-A060	急性期病院の小児領域における在宅看護専門職としての役割～両親が障がいを抱えたわが子の育児を引き受けていくプロセスとその支援の分析から～	在宅看護学	修士	石井 奈三		
終了報告	18-A061	兄弟となる子どもを対象とした出産準備クラスの実施状況に関する検討	助産学	修士	丸山 佳穂		
終了報告	18-A062	インドネシア助産学生のための産後出血におけるチーム基盤型学習(TBL)の実行可能性	助産学	博士後期	Ulfa Yunefit		

#### 5.その他審議・連絡

① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。

#### 6.次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2019年4月16日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。